

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	バイイング理論				
担当教員	池田 沙織		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	買い付けや仕入れにかかわる知識を幅広く学び、そこに付随する業務内容の講義、実践を行う。 知識のインプットからアウトプットまでを行える授業内容とする。				
学習目標 (到達目標)	買い付けから展示会、ポップアップショップの運営、販売実績収支のつけ方までを幅広く学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ショップ構想		運営の仕組み		
2	コンセプトMD		コンセプト・MDの捉え方		
3	コンセプトMD ペルソナ		ペルソナについて		
4	コンセプトMD イメージマップ		イメージマップ作成		
5	コンセプトMD ポジショニングマップ		ポジショニングマップ作成		
6	コンセプトからMDへ		コンセプトをまとめMDへの落とし込み		
7	シーズンテーマ設定		シーズンテーマ作成		
8	MD計画		MD計画について		
9	シーズンマップ制作		シーズンマップ作成		
10	MDマップ制作		MD計画についてマップ作成		
11	シーズンマップ、MDマップ共有		シーズンマップ、MDマップ共有		
12	競合店リサーチ		競合店リサーチ実施		
13	結果レポート 制作		結果レポート作成		
14	店頭企画 制作		店頭企画案作成		
15	結果レポート、店頭企画共有		結果レポート、店頭企画案共有		
16	POPUPショップコンセプト設定①		ショップコンセプト設定		
17	POPUPショップコンセプト設定②		コンセプトマップ 制作		
18	POPUPショップコンセプト設定③		ショップイメージマップ 制作		
19	POPUPショップコンセプト設定④		コンセプトマップ、イメージマップ共有		
20	POPUPショップコンセプト設定⑤		オーダー、サンプル検品		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出 100% 点数基準 課題：授業意欲＝80：20 企画書、プレゼンの内容で点数の増減（±5点）あり 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)			ノートを用意。		
実務経験教員の経歴	販売代行店にて仕入に関わることから展示会やショップ運営、後進育成まで幅広く携わる				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名		バイイング理論				
担当教員		池田 沙織		実務授業の有無	○	
対象学科		ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択		必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態		対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方		買い付けや仕入れにかかわる知識を幅広く学び、そこに付随する業務内容の講義、実践を行う。 知識のインプットからアウトプットまでを行える授業内容とする。				
学習目標 (到達目標)		買い付けから展示会、ポップアップショップの運営、販売実績収支のつけ方までを幅広く学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		なし				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	POPUPショップコンセプト設定⑥			コンセプト決定、役割分担		
2	POPUPショップコンセプト設定⑦			予算設定、備品制作、イメージ販促物		
3	POPUPショップコンセプト設定⑧			アイテムバランス、展開図、LOOK制作		
4	展示会シュミレーション			展示会シュミレーション案制作		
5	展示会シュミレーション			サンプルオーダー		
6	展示会シュミレーション			検品、陳列		
7	展示会シュミレーション			SNS戦略 制作		
8	POPUPショップ実習			実店舗にて実習		
9	POPUPショップ実習			実店舗にて実習		
10	POPUPショップ実習			実店舗にて実習		
11	POPUPショップ実習			ショップ収支について		
12	POPUPショップ実習			販売実績 検証		
13	POPUPショップ実習			消化率、利益率について		
14	POPUPショップ実習			実店舗にて実習		
15	POPUPショップ実習			実店舗にて実習		
16	POPUPショップ実習			実店舗にて実習		
17	POPUPショップ実習			実店舗にて実習		
18	POPUPショップ実習			振り返り報告書作成		
19	POPUPショップ実習			報告書共有		
20	POPUPショップ実習			まとめ 実績、1年間の総評		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
課題提出100％ 点数基準 課題：授業意欲＝80：20 企画書、プレゼンの内容で点数の増減（±5点）あり 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)				ノートを用意。		
実務経験教員の経歴		販売代行店にて仕入に関わることから展示会やショップ運営、後進育成まで幅広く携わる				

科目名	ショップ経営				
担当教員	藤王 祐子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科 (バイヤー・ショップオーナーコース)、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ショップの起業・経営・実務に必要な知識を習得する。 店舗の経営管理「ヒト、モノ、カネ」を管理する力（マネジメント能力）、戦略や課題を考えて目標を設定する力、目標や計画を管理する力、ファッション知識、接客、商品が大量かつ効率的に売れるようマーケティング力などショップ経営に係る知識を習得する。				
学習目標 (到達目標)	ショップの起業・経営・実務に必要な知識を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ワークシート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション、授業趣旨説明、messageone説明		講義 ノートを準備		
2	起業とアパレル産業の背景 トrendの影響 個人セレクトショップと大手SPA		講義 ノートを準備		
3	起業とアパレル産業の背景 トrendの影響 個人セレクトショップと大手SPA		講義 ノートを準備		
4	アパレル産業の社会的影響と現状 国産アパレルの現状 調べてレポート		PCで課題作成		
5	国産の商材をさがす どうやって生き残っているのか		PCで課題作成		
6	国産の商材をさがす どうやって生き残っているのか		PCで課題作成		
7	トレンドマーケティング①		PCで課題作成		
8	トレンドマーケティング①		PCで課題作成		
9	トレンドマーケティング②		PCで課題作成 プレゼンテーション		
10	トレンドマーケティング②		PCで課題作成 プレゼンテーション		
11	売上をあげるためのレイアウト、SNS運営、プロモーションについて		講義 ノートを準備		
12	売上をあげるためのレイアウト、SNS運営、プロモーションについて		講義 ノートを準備		
13	販売予算の考え方、仕入れについて		講義 ノートを準備		
14	販売予算の考え方、仕入れについて		講義 ノートを準備		
15	宣伝・広告プロモーション活動とは		講義 ノートを準備		
16	宣伝・広告プロモーション活動とは		講義 ノートを準備		
17	宣伝・広告プロモーション活動とは		講義 ノートを準備		
18	アパレル卸、仕入れ先の選定 販売ビジネスモデルについて		講義 ノートを準備		
19	アパレル卸、仕入れ先の選定 販売ビジネスモデルについて		講義 ノートを準備		
20	アパレル卸、仕入れ先の選定 販売ビジネスモデルについて		講義 ノートを準備		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題80%、プレゼンテーション10%、学習意欲10% 講義の内容が課題に反映されているかを重点的に見て評価基準とする。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			講義の内容をベースに課題作成するため、確実にノートを取る事。		
実務経験教員の経歴	外資系ハイブランドの販売、店舗マネージメント、新人研修、ロールプレイング指導などを約14年行う。				

科目名	ショップ経営				
担当教員	藤王 祐子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科 (バイヤー・ショップオーナーコース)、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ショップの起業・経営・実務に必要な知識を習得する。 店舗の経営管理「ヒト、モノ、カネ」を管理する力（マネジメント能力）、戦略や課題を考えて目標を設定する力、目標や計画を管理する力、ファッション知識、接客、商品が大量かつ効率的に売れるようマーケティング力などショップ経営に係る知識を習得する。				
学習目標 (到達目標)	ショップの起業・経営・実務に必要な知識を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ワークシート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ショップ経営経理 客単価 仕入れ 確定申告		講義 ノートを準備		
2	ショップ経営経理 客単価 仕入れ 確定申告		講義 ノートを準備		
3	クレーム対応		講義 ノートを準備		
4	クレーム対応		講義 ノートを準備		
5	サービスとマナー		講義 ノートを準備		
6	サービスとマナー		講義 ノートを準備		
7	フォーマルウェアの知識		講義 ノートを準備		
8	フォーマルウェアの知識		講義 ノートを準備		
9	男女脳と買い物価値観		講義 ノートを準備		
10	男女脳と買い物価値観		講義 ノートを準備		
11	ECサイト運営、SNSの効果的な活用方法SNSマーケティングについて		講義 ノートを準備		
12	ECサイト運営、SNSの効果的な活用方法SNSマーケティングについて		講義 ノートを準備		
13	店舗開店のための資金と申請書類		講義 ノートを準備		
14	店舗開店のための資金と申請書類		講義 ノートを準備		
15	仕入れから販売計画と売上予測について		講義 ノートを準備		
16	仕入れから販売計画と売上予測について		講義 ノートを準備		
17	事業計画書などの作成やプランニング		PCで課題作成		
18	事業計画書などの作成やプランニング		PCで課題作成		
19	事業計画書などの作成やプランニング		PCで課題作成		
20	事業計画書などの作成やプランニング		PCで課題作成 プレゼンテーション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題80%、プレゼンテーション10%、学習意欲10% 講義の内容が課題に反映されているかを重点的に見て評価基準とする。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			講義の内容をベースに課題作成するため、確実にノートを取る事。		
実務経験教員の経歴	外資系ハイブランドの販売、店舗マネージメント、新人研修、ロールプレイング指導などを約14年行う。				

科目名	ショッププロデュースⅡ				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科 (バイヤー・ショップオーナーコース)、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ショップコンセプトの構築からショップの構成、レイアウト、VMDの作成、商品仕入れから販売までの一連の流れを学ぶ。後期は実際にPOP UP SHOPを運営を行いショップをプロデュースする				
学習目標 (到達目標)	1. ターゲティングしたショップコンセプトを作成できる 2. ショップ仕入れができる 3. 実店舗ブースを作成し販売を行える				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入 科目趣旨説明 ショップコンセプト作成		PowerPointにて作成		
2	実店舗リサーチ		万代へ店舗リサーチ		
3	ショップコンセプト、ロゴ作成		illustratorにて作成		
4	ショップコンセプト、ロゴ作成		illustratorにて作成		
5	ショップ企画書作成PowerPoint 5枚以上		PowerPoint企画書作成		
6	ショップ企画書作成PowerPoint 5枚以上		PowerPoint企画書作成		
7	各自プレゼンテーションにて2つの企画を決定		PowerPoint企画書作成		
8	2つの企画を基にチーム分け、VMD企画、仕入れ計画の作成		PowerPoint企画書作成		
9	2つの企画を基にチーム分け、VMD企画、仕入れ計画の作成		PowerPoint企画書作成		
10	商品発注、VMD商材の発注		WEBにて発注		
11	商品発注、VMD商材の発注		WEBにて発注		
12	ショップVMDの作成		店舗スペースの作成		
13	ショップVMDの作成		店舗スペースの作成		
14	ショップVMDの作成		店舗スペースの作成		
15	ショップVMDの作成		店舗スペースの作成		
16	販売会準備		販売会準備		
17	販売会準備		販売会準備		
18	販売会準備		販売会準備		
19	販売会実施		販売会実施		
20	販売会の反省会・感想		反省などレポート		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
①課題評価(企画書)②ショップ制作・VMD制作 ③感想レポート 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ショッププロデュースⅠで学んだ知識を基にショッププロデュースⅡでは現実の店舗の大きさやVMD企画・商品仕入れなどを行う。グループワークでは完成度や販売会での売上なども評価		
実務経験教員の経歴		教員歴22年			

科目名	ショッププロデュースⅡ				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科 (バイヤー・ショップオーナーコース)、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ショップコンセプトの構築からショップの構成、レイアウト、VMDの作成、商品仕入れから販売までの一連の流れを学ぶ。後期は実際にPOP UP SHOPを運営を行いショップをプロデュースする				
学習目標 (到達目標)	1. ターゲティングしたショップコンセプトを作成できる 2. ショップ仕入れができる 3. 実店舗ブースを作成し販売を行える				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ポップアップショップの概要説明、店舗リサーチ		万代リサーチ		
2	企画書制作①		PowerPointにて作成		
3	企画書制作②中間チェック		PowerPointにて作成		
4	企画書制作③		PowerPointにて作成		
5	企画書制作④		PowerPointにて作成		
6	プレゼンテーション企画決定		発表プレゼンテーション		
7	プレゼンテーション企画決定		発表プレゼンテーション		
8	VMD、商品仕入れ計画、POP広告作成など		商品WEB仕入れ		
9	VMD、商品仕入れ計画、POP広告作成など		商品WEB仕入れ		
10	商品発注、VMDプランニング、什器発注、作成		商品WEB仕入れ		
11	接客プラン作成		PowerPointにて作成		
12	接客プラン作成		PowerPointにて作成		
13	商品着、検品、VMD作成		PowerPointにて作成		
14	商品着、検品、VMD作成		PowerPointにて作成		
15	上代設定、タグ、商品リストの作成		PowerPointにて作成		
16	店内レイアウト配置、作成		実店舗作成		
17	店内レイアウト配置、作成		実店舗作成		
18	ショップオープン運営		実店舗作成		
19	ショップオープン運営		運営		
20	反省会、レポート		レポートまとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
①課題評価(企画書)②ショップ制作・VMD制作 ③感想レポート 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			後期はラブラ万代にてPOPアップショップをオープンし販売会を行う。企業との調整など注意		
実務経験教員の経歴		教員歴22年			

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(A科目)				
担当教員	大澤 清孝			実務授業の有無	○
対象学科	ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡA科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級A科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2／ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	ファッション販売知識①			教科書 p8～p9 過去問題演習	
2	ファッション販売知識②			教科書 p10～p12 過去問題演習	
3	ファッション販売知識③			教科書 p13～p14 過去問題演習	
4	ファッション販売知識④			教科書 p15～p19 過去問題演習	
5	ファッション販売技術①			教科書 p20～p24 過去問題演習	
6	ファッション販売技術②			教科書 p25～p30 過去問題演習	
7	ファッション販売技術③			教科書 p31～p35 過去問題演習	
8	ファッション販売技術④、⑤			教科書 p36～p47 過去問題演習	
9	ファッション販売技術⑥			教科書 p48～p51 過去問題演習	
10	ファッション販売技術⑦、⑧			教科書 p52～p61 過去問題演習	
11	マーケティング①			教科書 p152～p155 過去問題演習	
12	マーケティング②			教科書 p156～p160 過去問題演習	
13	マーケティング②			教科書 p161～p166 過去問題演習	
14	マーケティング③			教科書 p167～p173 過去問題演習	
15	試験対策			模擬テスト	
16	試験対策			模擬問題解答・解説	
17	試験対策			模擬テスト	
18	試験対策			模擬問題解答・解説	
19	前期試験			前期試験	
20	前期試験解答・解説			解答・解説	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
試験評価100％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること	
実務経験教員の経歴		スタイリスト歴15年			

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(A科目)				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡA科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級A科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2／ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	A科目過去問題①		第43回 過去問題A科目試験形式及び解答		
2	A科目過去問題①		第43回 過去問題A科目 解説・振り返り		
3	A科目過去問題②		第42回 過去問題A科目試験形式及び解答		
4	A科目過去問題②		第42回 過去問題A科目 解説・振り返り		
5	A科目過去問題③		第41回 過去問題A科目試験形式及び解答		
6	A科目過去問題③		第41回 過去問題A科目 解説・振り返り		
7	A科目過去問題④		第40回 過去問題A科目試験形式及び解答		
8	A科目過去問題④		第40回 過去問題A科目 解説・振り返り		
9	A科目過去問題⑤		第39回 過去問題A科目試験形式及び解答		
10	A科目過去問題⑤		第39回 過去問題A科目 解説・振り返り		
11	A科目過去問題⑥		第38回 過去問題A科目試験形式及び解答		
12	A科目過去問題⑥		第38回 過去問題A科目 解説・振り返り		
13	検定対策		対策ワード解説		
14	検定本番問題の解答・解説①		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
15	検定本番問題の解答・解説②		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
16	試験対策		模擬問題		
17	試験対策		模擬問題解答・解説		
18	後期試験		後期試験		
19	後期試験解答・解説		解答・解説		
20	一年間のまとめ、振り返り		一年間のまとめ、振り返り		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴		スタイリスト歴15年			

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ（Ｂ科目）				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡＢ科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、商品素材知識、ビジュアルマーチャンダイジング等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 （到達目標）	ファッション販売能力検定2級B科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2／ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品知識①		教科書 p 61～p 93 過去問題演習		
2	商品知識②		教科書 p 94～p 107 過去問題演習		
3	商品知識③		教科書 p 108～p 111 過去問題演習		
4	商品知識④		教科書 p 112～p 117 過去問題演習		
5	売り場づくり①		教科書 p 118～p 121 過去問題演習		
6	売り場づくり②		教科書 p 122～p 127 過去問題演習		
7	売り場づくり③		教科書 p 128～p 137 過去問題演習		
8	売り場づくり④、⑤、⑥		教科書 p 138～p 143 過去問題演習		
9	売り場づくり⑦、⑧、⑨		教科書 p 144～p 147 過去問題演習		
10	売り場づくり⑦、⑧、⑨		教科書 p 148～p 151 過去問題演習		
11	店舗運営管理①		教科書 p 174～p 182 過去問題演習		
12	店舗運営管理②		教科書 p 183～p 186 過去問題演習		
13	店舗運営管理③		教科書 p 187～p 189 過去問題演習		
14	店舗運営管理④		教科書 p 190～p 193 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価 100％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴		スタイリスト歴15年			

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ（Ｂ科目）				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科 (スタイリストプレスコース)、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡＢ科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、商品素材知識、ビジュアルマーチャンダイジング等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 （到達目標）	ファッション販売能力検定2級Ｂ科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2／ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	Ｂ科目過去問題①		第42回 過去問題Ｂ科目試験形式及び解答		
2	Ｂ科目過去問題①		第42回 過去問題Ｂ科目 解説・振り返り		
3	Ｂ科目過去問題②		第41回 過去問題Ｂ科目試験形式及び解答		
4	Ｂ科目過去問題②		第41回 過去問題Ｂ科目 解説・振り返り		
5	Ｂ科目過去問題③		第40回 過去問題Ｂ科目試験形式及び解答		
6	Ｂ科目過去問題③		第40回 過去問題Ｂ科目 解説・振り返り		
7	Ｂ科目過去問題④		第39回 過去問題Ｂ科目試験形式及び解答		
8	Ｂ科目過去問題④		第39回 過去問題Ｂ科目 解説・振り返り		
9	Ｂ科目過去問題⑤		第38回 過去問題Ｂ科目試験形式及び解答		
10	Ｂ科目過去問題⑤		第38回 過去問題Ｂ科目 解説・振り返り		
11	Ａ科目過去問題⑥		第37回 過去問題Ｂ科目試験形式及び解答		
12	Ａ科目過去問題⑥		第37回 過去問題Ｂ科目 解説・振り返り		
13	検定対策		対策ワード解説		
14	検定本番問題の解答・解説①		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
15	検定本番問題の解答・解説②		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
16	試験対策		模擬問題		
17	試験対策		模擬問題解答・解説		
18	後期試験		後期試験		
19	後期試験解答・解説		解答・解説		
20	一年間のまとめ、振り返り		一年間のまとめ、振り返り		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価１００％ 成績評価基準は、Ａ(80点以上)・Ｂ(70点以上)・Ｃ(60点以上)・Ｄ(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	VMD II				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1年次に学習した基礎知識をもとにテーマ別訴求、イベント別訴求等を企画から作成し、1F SHOP、3F ディスプレイルームを作成。商品の魅力を演出できるように実践をメインに取り組む。 またセリングポイントを訴求した効果的なディスプレイを作成し、店舗運営と並行して授業を行う。				
学習目標 (到達目標)	各アイテムに適した陳列方法をマネキン、トルソーを使用して1FのSHOPを使い魅力的に見せる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入、1年次振り返り		授業ルールについて、科目のゴール説明。 振り返りシート配布、記入。		
2	人の視覚特性について 講義		視覚特性に基づいたVMDプラン、VMDルール講義		
3	導線、レイアウトについて講義		視覚特性を活かした導線、レイアウト講義、実践		
4	SKU,FKU講義、主役と脇役		SKU,FKUについてのプリント配布。 VMDにおける主役と脇役についての講義。		
5	構成実践 撮影、ワークシート作成		身近な物を使って構成の実践。テーマ、ポイントなどは各自自由に決める。今まで学んだことを活かして実践		
6	構成実践 発表		構成の発表		
7	アイテムケア（シューズ、革物）		各自でアイテムを用意してもらい、ケア実施。		
8	ファッションショーに向けたテーマ決め、マップ作成		テーマ決め、マップ作成		
9	ファッションショーテーマ プレゼン、内容策定		テーマのプレゼン、内容策定。		
10	ファッションショー展示		ディスプレイルームに展示		
11	ネクタイ結び方の復習、テクニク講義 実践		結び方復習、テクニク講義、実践		
12	万代リサーチ		万代ヘリサーチ実施		
13	リサーチレポート作成		レポート提出（売場図、ポイント記載）		
14	FWに向けた1F SHOP VMD変更		1FSHOPのVMD変更を全員で実施。		
15	ネクタイ結び方の復習、テクニク講義 実践		結び方復習、テクニク講義、実践		
16	ネクタイ結び方の復習、テクニク講義 実践		結び方テクニク、実践		
17	古町リサーチ		リサーチ実施、売り場、オススメアイテムのリサーチ。		
18	リサーチレポート作成		リサーチレポート提出。（売場図、ポイント記載）		
19	まとめ、SHOP内容引継ぎ		VMDIIまとめワークシート配布。SHOP内容を1年生に引継ぎ。		
20	まとめ、SHOP内容引継ぎ		SHOP内容を1年生に引継ぎ。重点ポイントなど。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲＝80：20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減（±5点）あり 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)			A4ファイル、ノート（ルーズリーフでも可）用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	VMD II				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	プランニングからディスプレイ企画、アイテム選別まで各個人で実施。 2年間で学んだコーディネート、VMD、店舗運営などの知識を活かし、心に、視覚に訴える課題を制作。 卒業課題となり最終ショー形式にて発表。				
学習目標 (到達目標)	企画書の作成、プレゼン実施、VMD企画、演出のすべてを実践し理解をする。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	課題趣旨説明		制作の内容、趣旨説明		
2	企画書立案		企画書立案（コーディネートイメージ5体、VMD企画、 演出企画）パワーポイントにてスライド10枚以上。		
3	企画書作成 1		企画書作成 コーディネートイメージ5体、VMD企画立て		
4	企画書作成 2		企画書作成 演出、音楽の企画立案		
5	企画書中間チェック		企画書の中間チェック実施。		
6	企画書プレゼン		企画書プレゼン（1人ずつ企画の意図、演出なども全て伝 える）		
7	企画採用者決定		採用企画の制作へ移る。各担当や演出などすべて採用企画 者に仕切らせ制作開始。		
8	採用企画のコーディネート策定 1		コーディネート案作成 PCにて画像収集		
9	採用企画のコーディネート策定 2		コーディネート案作成 PCにて画像収集		
10	採用企画のコーディネート策定 3		コーディネート案完成 モデル案策定		
11	必要なアイテム候補出し		足りないアイテムの候補出し		
12	必要なアイテムなど買い出し		足りないアイテムの候補出し、買い出し実施		
13	コーディネートチェック		コーディネートチェック実施		
14	フィッティング実施		フィッティング実施		
15	演出関連作成		演出関連（音楽、映像など）作成		
16	演出関連リハ		演出関連リハーサル実施。		
17	リハーサル、改善ミーティング 1		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
18	リハーサル、改善ミーティング 2		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
19	リハーサル、改善ミーティング 3		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
20	リハーサル、改善ミーティング 4		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
(1) 出席率が80%以上である事。 (2) 最終提出期限が守られている事。 (3) 課題内容の条件を満たしている事。 (4) 総合評価60点以上であること ① 企画書40% ② コーディネート30%で評価 ③ VMD20%＋授業態度10%			提出物 (1) プレゼンテーション企画書 (2) 作品 コーディネート作品1人1コーディネート 各科目ごとに複数の教務にて評価を行う。		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	WEBショップⅡ				
担当教員	大倉 敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 トータルファッション科、 ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ECサイトBASEにて、生徒独自のネットショップの作成し運営を行う 一般消費者に対して商品の販売・顧客対応・プロモーションを行う HPの作成方法、WEBの基礎知識、SEO、商品登録、顧客対応、インサイトの分析を学ぶことでwebshop運営の技術を習得する				
学習目標 (到達目標)	webshop作成方法と運営の技術を習得する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナル資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ECの現状と授業での運営方法について		実際のECサイトからわかるECについての講義		
2	商品の仕入れと販売について		ドロップ SHIPPING についての講義		
3	商品の仕入れと販売について		ドロップ SHIPPING についての講義		
4	ランチェスター戦略		ランチェスター戦略の基本概念とその応用について		
5	ショップコンセプト決め		ショップコンセプトを決める実習		
6	ショップコンセプト決め		ショップコンセプトを決める実習		
7	ログイン・ショップ制作開始		アカウント作成とショップ作成の実習		
8	初期設定と特定商取引法に関する記載の入力		特定商取引法に関する記載についての講義と実習		
9	初期設定と特定商取引法に関する記載の入力		特定商取引法に関する記載についての講義と実習		
10	商品デザイン		Adobe Illustratorを使った商品デザインと登録手順の講義		
11	商品デザイン		Adobe Illustratorを使った商品デザインと登録手順の講義		
12	商品登録		Adobe Illustratorを使った商品デザインと登録手順の講義		
13	商品登録		Adobe Illustratorを使った商品デザインと登録手順の講義		
14	SEOとその役割		SEOについての講義と実習		
15	SEOとその役割		SEOについての講義と実習		
16	TOPページデザイン		TOPページの作成方法とCVRが上がるページについての講義		
17	TOPページデザイン		TOPページの作成方法とCVRが上がるページについての講義		
18	バナー作成		ショップコンセプト・TOPページ・商品に基づきバナーを作成する実習		
19	バナー作成		ショップコンセプト・TOPページ・商品に基づきバナーを作成する実習		
20	SHOPオープン		SHOPオープン時の注意点と最終確認		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%			講義で学んだことを踏まえ課題に取り組む。クオリティが低い場合は、再提出とする事がある。全ての課題を提出する事。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	県内ニッターでボタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	WEBショップⅡ				
担当教員	大倉 敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 トータルファッション科、 ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ECサイトBASEにて、生徒独自のネットショップの作成し運営を行う 一般消費者に対して商品の販売・顧客対応・プロモーションを行う HPの作成方法、WEBの基礎知識、SEO、商品登録、顧客対応、インサイトの分析を学ぶことでwebshop運営の技術を習得する				
学習目標 (到達目標)	webshop作成方法と運営の技術を習得する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナル資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インサイト確認・分析		インサイトを分析し、売り上げを上げるための講義		
2	インサイト確認・分析		インサイトを分析し、売り上げを上げるための講義		
3	アカウントの見直し		分析結果を踏まえ、ショップコンセプトを見直す実習		
4	商品デザイン、商品登録		秋冬用の商品を作成する実習		
5	商品デザイン、商品登録		秋冬用の商品を作成する実習		
6	商品デザイン、商品登録		秋冬用の商品を作成する実習		
7	SEO対策と関連ブログ記事作成		集客をするためのSEOの講義とブログを作成する実習		
8	SEO対策と関連ブログ記事作成		集客をするためのSEOの講義とブログを作成する実習		
9	プロモーション用の企画作成		集客をするための企画作成		
10	プロモーション用の企画作成		集客をするための企画作成		
11	プロモーション用の企画作成		集客をするための企画作成		
12	冬用トップページ修正		秋冬用のTOPページに変更する実習		
13	冬用トップページ修正		秋冬用のTOPページに変更する実習		
14	冬用トップページ修正		秋冬用のTOPページに変更する実習		
15	バナー作成		秋冬用のTOPページに合わせたバナーを作成する実習		
16	バナー作成		秋冬用のTOPページに合わせたバナーを作成する実習		
17	SEO対策		集客をするためのSEOの講義とブログを作成する実習		
18	SEO対策		集客をするためのSEOの講義とブログを作成する実習		
19	GOOGLEサーチコンソールについて		GOOGLEサーチコンソールについて		
20	最終課題提出とまとめ		最終課題提出とまとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			講義で学んだことを踏まえ課題に取り組む。クオリティが低い場合は、再提出とする事がある。全ての課題を提出する事。		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでボタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	イラストレーターフォトショップD				
担当教員	大倉 敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.フォトショップの基本操作方法を習得する				
学習目標 (到達目標)	フォトショップの基本的な操作方法を理解しツールを使えるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe PhotshopCC、PhotoshopCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インストール		インストール作業		
2	インストール		インストール作業		
3	フォトショップとは		導入：P2～8		
4	基本操作		起動とファイル：P10～21		
5	基本操作		画面表示と色の選択：P22～31		
6	選択範囲の概念		選択ツール：P32～40		
7	選択範囲の概念		その他の選択：P41～45		
8	画像の移動と変形		解像度とサイズ：P46～52		
9	画像の移動と変形		コピー&ペースト：P53～59		
10	カラーの概念		カラーモード：P60～64		
11	カラーの概念		色調補正：P65～71		
12	ペイントツール		ペイント系のツール：P72～96		
13	ペイントツール		ペイント演習：P97		
14	レイヤー操作		レイヤー機能：P98～100		
15	レイヤー操作		レイヤー機能：P101～103		
16	レイヤー操作		レイヤー機能：P104～107		
17	レイヤー操作		レイヤー機能：P108～111		
18	テキストツール		テキストの入力と編集：P128～130		
19	テキストツール		テキストの入力と編集：P131～134		
20	テキストツール		演習P135		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ペイントの演習50％・テキストの演習50％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題は全て提出すること パソコン・テキストを必ず準備すること		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験				

科目名	イラストレーターフォトショップD				
担当教員	大倉 敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.フォトショップの応用操作方法を習得する				
学習目標 (到達目標)	フォトショップの応用操作方法を理解しコラージュマップの作成や写真の合成ができるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe PhotshopCC、PhotoshopCCクイックマスター☒				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	フィルターについて		フィルターの概要：P136～151		
2	画像編集・フォトレタッチ		色調補正：P164～180		
3	画像編集・フォトレタッチ		写真補正演習：P181		
4	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P182～187		
5	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P188～193		
6	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P194～198		
7	ロゴデザイン		ロゴデザイン演習：P199		
8	カード、ステーションナリーデザイン		ポップ制作：P200～207		
9	カード、ステーションナリーデザイン		ポップ制作：P208～215		
10	フォトコラージュ		写真の合成①：P216～221		
11	フォトコラージュ		写真の合成②：P222～227		
12	フォトコラージュ		写真の合成③：P228～233		
13	オリジナルポートフォリオ制作		課題画像加工		
14	オリジナルポートフォリオ制作		ページ構成・レイアウト		
15	オリジナルポートフォリオ制作		コラージュ・合成作成		
16	オリジナルポートフォリオ制作		テキスト・ロゴマーク配置		
17	オリジナルポートフォリオ制作		ブックにまとめ		
18	オリジナルポートフォリオ制作		ブックにまとめ		
19	オリジナルポートフォリオ制作		プレゼンテーション・提出		
20	オリジナルポートフォリオ制作		プレゼンテーション・講評		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
オリジナルポートフォリオ100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題は全て提出すること パソコン・テキストを必ず準備すること		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	アパレルデザインⅡ				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 発想力を学ぶ 2. デザイン力を身につける 3. D画 画力・表現力の向上				
学習目標 (到達目標)	デザインの発想力や想像力を高めデザイン画コンテスト入選を目指す。コンセプトからの素材見本作りなどデザイン表現のクオリティを高める。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	2時間で模写 写真から模写し描く着彩		1年次の復習。おさらい。		
2	メンズ・子供服		メンズと子供服について		
3	D画 発想 ジャポニズム		日本からの発想。コラージュしたものを基にデザイン画を描く		
4	D画 発想 絵画からの発想と着彩		絵画をモチーフにし絵画の色を使い着彩。着彩の幅を広げる		
5	D画 発想 デニム		素材の表現。デニム素材を使用したD画。必ずデニムを表現する。		
6	D画 発想 映画からのデザイン		様々な年代の映画衣装を参考にし映画の登場人物の衣装をデザインする。		
7	D画 発想 企業用のD画 トренд		春夏トレンドのマップをコラージュで作成デザインソースを作る		
8	D画 発想 企業用のD画 トренд		春夏トレンドのマップを基に企業・就職活動用のD画を描く。		
9	D画 発想 民族衣装		世界の民族衣装をモチーフにコラージュを作成しD画を描く		
10	D画 発想 ミリタリー		ミリタリーをテーマにコラージュを作成しD画を描く		
11	D画 発想 建築物		建築物の外観や作りなどを参考に洋服のデザインに落とし込む		
12	D画 発想 ドレープ		ドレープを利用したデザインを考え作成する		
13	D画 発想 構造		世の中の様々な構造からアイデアを発送しデザインする。		
14	D画 発想 自然		自然界にある植物や動物昆虫など自然界の中にあるモチーフを決めデザインする		
15	D画 発想 アート		様々なアートの手法をモチーフに洋服のデザインに落とし込む。D画にして表現		
16	デザイン画 着彩指導 水彩1		水彩着彩の復習1		
17	デザイン画 着彩指導 水彩2		水彩着彩の復習2		
18	仕上げ方法・コラージュの方法1		デザイン画仕上げの方法の色々とコラージュ指導		
19	仕上げ方法・コラージュの方法2		デザイン画仕上げの方法の色々とコラージュ指導		
20	仕上げ方法・コラージュの方法3		デザイン画仕上げの方法の色々とコラージュ指導		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10%			課題を毎週提出し技術力の向上を図る。また課題評価。評価の高い課題の解説を行う。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		教員歴22年			

科目名	アパレルデザインⅡ				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 発想力を学ぶ 2. デザイン力を身につける 3. D画 画力・表現力の向上 4. 素材をデザイン画に落とし込む				
学習目標 (到達目標)	デザインの発想力や想像力を高めデザイン画コンテスト入選を目指す。コンセプトからの素材見本作りなどデザイン表現のクオリティを高める。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	素材を作る 1 (スラッシュキルト)		スラッシュキルトを作成してみる		
2	素材を使用したデザイン画 1		スラッシュキルトを使用したデザイン画を描く		
3	素材を作る 2 (フェルトを作る)		原毛からフェルトを作ってみる		
4	素材を使用したデザイン画 2		フェルトを使いデザインしてみる		
5	素材を作る 3 (タックを作る)		タックを使用し様々な素材を作る		
6	素材を使用したデザイン画 3		タックを使用しデザイン画を描いてみる		
7	就職活動用デザイン画指導ポートフォリオ作り 1		A／Wのトレンドを作成		
8	就職活動用デザイン画指導ポートフォリオ作り 2		テキスタイルマップ・カラーマップ作り		
9	就職活動用デザイン画指導ポートフォリオ作り 3		カラーマップ作りデザイン出し		
10	就職用デザイン画作成		就職活動用に企業に合わせたデザイン画を描く		
11	就職用デザイン画作成		就職活動用に企業に合わせたデザイン画を描く		
12	就職用デザイン画作成		就職活動用に企業に合わせたデザイン画を描く		
13	市場トレンドについてコレクション分析しデザイン画		市場トレンド分析の方法の指導・コレクショントレンド分析しデザイン画にする		
14	市場トレンドについてコレクション分析しデザイン画		市場トレンド分析の方法の指導・コレクショントレンド分析しデザイン画にする		
15	市場トレンドについてコレクション分析しデザイン画		市場トレンド分析の方法の指導・コレクショントレンド分析しデザイン画にする		
16	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画 1 枚作成		
17	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画 1 枚作成		
18	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画 1 枚作成		
19	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画 1 枚作成		
20	最終課題 オリジナル素材を作成しテーマを決めデザインする		素材作成・テーマ決めデザイン画 1 枚作成		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題 90%、学習意欲10%			課題を毎週提出し技術力の向上を図る。また課題評価。評価の高い課題の解説を行う。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		教員歴 22 年			

科目名	店舗運営Ⅱ				
担当教員	松田 大/久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1FのSHOPを使用し、現場での仕事の内容をフィードバックしながら授業を行う。 買い付け→販売→運営の流れを学ぶ授業。VMDⅡとも並行して行うが、その中でSNSやDMなどでの集客方法、販促（プロモーション）方法、買付の仕組みなどを総合的に学ぶ。 クラスで店長、副店長、VMD、SNS、仕入れの役職、組織を作り実践的に学ぶ。				
学習目標 （到達目標）	コンセプトショップの提案。実店舗の今のあり方や新潟のニーズ、ライフスタイルへの影響などを含め今の現場感を学ぶ。ブランドプロモーションの仕組みなどを実際に学んで行く。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業ルール、導入		授業のルール配布。		
2	ショップ構想、役割決め		ショップ案、役割決め実施		
3	店舗内のアイテム季節進行をして商品入れ替え実施。		アイテムの季節進行で商品入れ替え実施。		
4	5S、クレンリネスについて		5S、クレンリネスの大切さについてのプリント配布、講義。		
5	5S、クレンリネス 実施		倉庫、店舗の整理整頓、清掃実施		
6	各部門での施策内容実施。		各部門（VMD,SNS,仕入れ）で実施したい内容を各部門で挙げて内容を実施。企業へヴィジュアルマップ送付。		
7	計数管理		店舗運営に関わる計数管理 講義、テスト		
8	リテール分析		小売業の分析、細分化について 講義		
9	アイテムコンセプトワーク、商品選別 1		アイテムコンセプトについて、売れ筋、見切り品について講義。販売商品の選別。		
10	商品選別 2		販売商品の選別。		
11	ファッションショーで使用したアイテムを1FSHOPへ店出し		ショーでのアイテムをSHOPにて販売準備を実施。		
12	SHOP リニューアルに向けた準備 店長、副店長MTG実施		店長、副店長ミーティングを実施してSHOPの現状と改善事項を挙げてリニューアルに向けて準備する。		
13	品番、価格設定について		品番設定、価格設定について講義、タグ付け実施		
14	タグ付け		タグ付け実施。		
15	季節商品入れ替え実施		SHOP内の季節商品入れ替え実施。		
16	各部門で施策内容の見直し、改善事項吸い上げ		各部門での見直し、各部門ごとでミーティング実施して改善事項を挙げる。		
17	施策内容改善事項実施		改善事項を実施する。		
18	ショップレイアウト変更		ショップ内レイアウト変更		
19	売れるSHOPとは？ 講義		売れるSHOPについてのプリント配布、講義。		
20	売れるSHOPとは？ ディスカッション		売れるSHOPについてのディスカッション実施。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
点数基準 授業意欲＝100 主に授業態度の評価になるが、企画書、SHOPシフトの出勤状況によって減点もあり。 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)			ファイルは必要ないが、ノートを用意すること。		
実務経験教員の経歴	教員歴22年/家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	店舗運営Ⅱ				
担当教員	松田 大/久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1FのSHOPを使用し、現場での仕事の内容をフィードバックしながら授業を行う。 買い付け→販売→運営の流れを学ぶ授業。VMDⅡとも並行して行うが、その中でSNSやDMなどでの集客方法、販促（プロモーション）方法、買付の仕組みなどを総合的に学ぶ。 クラスで店長、副店長、VMD、SNS、仕入れの役職、組織を作り実践的に学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	コンセプトショップの提案。実店舗の今のあり方や新潟のニーズ、ライフスタイルへの影響などを含め今の現場感を学ぶ。ブランドプロモーションの仕組みなどを実際に学んで行く。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	売れるSHOPとは まとめ		ディスカッション内容のまとめ		
2	VMDの重要性について		SHOPにおけるVMDの重要性について講義		
3	ブランドマーケティング		ブランド市場の細分化について講義		
4	ブランド比較1		ブランドのポジショニングから競合他社の割出について		
5	ブランド比較2		アプローチ後のレスポンス率の計算やその後の行動内容について講義。		
6	卒業課題 企画書立案		企画書立案（コーディネートイメージ5体、VMD企画、演出企画）パワーポイントにてスライド10枚以上。		
7	卒業課題 企画書作成1		企画書作成 コーディネートイメージ5体、VMD企画立て		
8	卒業課題 企画書作成2		企画書作成 演出、音楽の企画立案		
9	卒業課題 企画書中間チェック		企画書の中間チェック実施。		
10	卒業課題 企画書プレゼン		企画書プレゼン（1人ずつ企画の意図、演出なども全て伝える）		
11	卒業課題 企画採用者決定		採用企画の制作へ移る。各担当や演出などすべて採用企画者に仕切らせ制作開始。		
12	卒業課題 採用企画のコーディネート策定1		コーディネート案作成 PCにて画像収集		
13	卒業課題 採用企画のコーディネート策定2		コーディネート案作成 PCにて画像収集		
14	卒業課題 採用企画のコーディネート策定3		コーディネート案完成 モデル案策定		
15	卒業課題 必要なアイテム候補出し		足りないアイテムの候補出し		
16	卒業課題 必要なアイテムなど買い出し		足りないアイテムの候補出し、買い出し実施		
17	卒業課題 コーディネートチェック		コーディネートチェック実施		
18	卒業課題 フィッティング実施		フィッティング実施		
19	卒業課題 演出関連作成		演出関連（音楽、映像など）作成		
20	卒業課題 演出関連リハ		演出関連リハーサル実施。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
点数基準 授業意欲＝100 主に授業態度の評価になるが、企画書、SHOPシフトの出勤状況によって減点もあり。 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)			ファイルは必要ないが、ノートを用意すること。		
実務経験教員の経歴	教員歴22年/家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	英会話				
担当教員	マッティア ラレセ		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科 (ブランドプロデュースコース)、 ファッションスタイリスト科、 ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	紹介① 友達などの紹介のしかた		プリント1		
2	紹介② 性格と主張		プリント2		
3	紹介		ワークシート1 (紹介)		
4	単数、複数		プリント3		
5	単数、複数		ワークシート2 (単数)、会話		
6	単数、複数		ワークシート2 (複数)、会話		
7	衣服① 名称、色		プリント4		
8	衣服① 名称、色		ワークシート3 (衣服の名称)		
9	衣服① 名称、色		ワークシート4 (衣服の名称)		
10	衣服② 動詞、形容詞		プリント5		
11	衣服② 動詞、形容詞		ワークシート5 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)		
12	衣服② 動詞、形容詞		ワークシート6 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)		
13	衣服③ 形容詞		プリント6、会話		
14	衣服③ 形容詞		プリント7		
15	衣服③ 形容詞		プリント8		
16	衣服③ 形容詞		文章作成		
17	衣服③ 形容詞		復習、会話		
18	復習		ワークシート7		
19	復習		ワークシート8		
20	まとめ		前期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。		
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	英会話				
担当教員	マッティ ア ラレセ		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科 (ブランドプロデュースコース)、 ファッションスタイリスト科、 ファッションビジネス科、 トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前置詞		プリント9、リスニング		
2	前置詞		プリント9、会話		
3	前置詞		ワークシート9（文章作成）		
4	前置詞		ワークシート10		
5	前置詞		ワークシート11（文章作成）		
6	服のお直しのための英語		プリント10、会話		
7	服のお直しのための英語		ワークシート12		
8	服のお直しのための英語		ワークシート12（文章作成）		
9	服を販売するときの英語		ワークシート13（会話）		
10	服を販売するときの英語		プリント11		
11	服を販売するときの英語		ワークシート13（文章作成）		
12	裁縫道具等の英語		プリント12		
13	裁縫道具等の英語		プリント12（会話）		
14	裁縫道具等の英語		ワークシート14（文章作成）		
15	復習		ワークシート15		
16	復習		ワークシート16		
17	総復習		ワークシート1～8		
18	総復習		ワークシート9～16		
19	まとめ		後期まとめ		
20	まとめ		総まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。		
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

科目名	就職実務 II				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	×	
対象学科	トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	自己PR文章作成 1		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
2	自己PR文章作成 2		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
3	自己PR文章作成 3		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
4	GD対策 1		GD対策授業面接練習		
5	GD対策 2		GD対策授業面接練習		
6	GD対策 3		GD対策授業面接練習		
7	グループ面接対策 1		グループ面接実践		
8	グループ面接対策 2		グループ面接実践		
9	グループ面接対策 3		グループ面接実践		
10	グループ面接対策 4		グループ面接実践		
11	メールのマナー・添え状・お礼状など		メールでの文章作成の基本。添え状テンプレート作成		
12	企業リストアップ 1		企業研究を深め企業を絞り込む		
13	企業リストアップ 2		企業研究を深め企業を絞り込む		
14	適性検査の基本		適性検査について評価のポイント		
15	SPA対策		SPA試験対策指導		
16	社会人マナー検定対策 1		社会人常識マナー検定対策授業		
17	社会人マナー検定対策 2		社会人常識マナー検定対策授業		
18	社会人マナー検定対策 3		社会人常識マナー検定対策授業		
19	社会人マナー検定対策 4		社会人常識マナー検定対策授業		
20	社会人マナー検定対策 5		社会人常識マナー検定対策授業		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	就職実務 II				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	×	
対象学科	トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人常識マナー検定対策 6		社会人常識マナー検定対策授業		
2	社会人常識マナー検定対策 7		社会人常識マナー検定対策授業		
3	社会人常識マナー検定対策 8		社会人常識マナー検定対策授業		
4	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
5	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
6	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
7	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
8	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
9	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
10	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
11	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
12	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
13	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
14	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
15	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
16	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
17	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
18	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
19	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
20	内定者／他課題制作授業 未内定者／個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	修了制作				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	トータルファッション科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	プランニングからディスプレイ企画、アイテム選別まで各個人での実施。 2年間で学んだコーディネート、VMD、店舗運営などの知識を活かし、心に、視覚に訴える課題を制作。 ファッションビジネスでの終了課題となり最終ショー形式にて発表。				
学習目標 (到達目標)	企画書の作成、プレゼン実施、VMD企画、演出のすべてを実践し理解をする。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	修了制作について 課題趣旨説明		修了制作の内容、趣旨説明		
2	修了制作 企画書立案		企画書立案（コーディネートイメージ5体、VMD企画、演出企画）パワーポイントにてスライド10枚以上		
3	修了制作 企画書作成①		企画書作成 コーディネートイメージ5体、VMD企画立て		
4	修了制作 企画書作成②		企画書作成 演出、音楽の企画立案		
5	修了制作 企画書中間チェック		企画書の中間チェック実施		
6	修了制作 企画書プレゼン		企画書プレゼン （1人ずつ企画の意図、演出なども全て伝える）		
7	修了制作 企画採用者決定		採用企画の制作		
8	修了制作 採用企画のコーディネート策定①		コーディネート案作成 PCにて画像収集①		
9	修了制作 採用企画のコーディネート策定②		コーディネート案作成 PCにて画像収集②		
10	修了制作 採用企画のコーディネート策定③		コーディネート案完成 モデル案策定③		
11	修了制作 必要なアイテム候補出し		足りないアイテムの候補出し		
12	修了制作 必要なアイテムなど買い出し		足りないアイテムの候補出し、買い出し実施		
13	修了制作 コーディネートチェック		コーディネートチェック実施		
14	修了制作 フィッティング実施		フィッティング実施		
15	修了制作 演出関連作成		演出関連（音楽、映像など）作成		
16	修了制作 演出関連リハ		演出関連リハーサル実施		
17	修了制作 リハーサル、改善ミーティング①		リハーサル実施① 改善事項などのミーティング実施		
18	修了制作 リハーサル、改善ミーティング②		リハーサル実施② 改善事項などのミーティング実施		
19	修了制作 リハーサル、改善ミーティング③		リハーサル実施③ 改善事項などのミーティング実施		
20	修了制作 リハーサル、改善ミーティング④		リハーサル実施④ 改善事項などのミーティング実施		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
(1) 出席率が80%以上である事。 (2) 最終提出期限が守られている事。 (3) 課題内容の条件を満たしている事。 (4) 総合評価60点以上であること ①企画書40% ②コーディネート30%で評価 ③VMD20%+授業態度10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			提出物 (1) プレゼンテーション企画書 (2) 作品 コーディネート作品1人1コーディネート 各科目ごとに複数の教務にて評価を行う。		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				